



パンフレットのツアーNo. をクリック (タップ) すると、
該当ツアーの**申し込み画面**に移動できます。

*「GoToトラベル」が再開した場合は改定料金をお知らせ致します。

白洲正子「かくれ里」を訪ね歩く

35名様限定・プラン

現代日本のエッセイ「かくれ里」は、近畿を中心に各地の山河風物をめぐった紀行文集。「芸術新潮」で2年にわたり連載後、1971(昭和46)年12月に新潮社より刊行されました。翌年、第24回読売文学賞を受賞。白洲さん自身は「能面」に続く2回目の同賞受賞でした。40年を経て、全く色褪せないその文面は、筆者の現在に通ずる視点で書かれた名作で、今なお多くの人々に愛されています。



～木地師の村～

人も通わぬ山奥の谷間、木工を職とする「木地師」の本拠へ

■旅行代金 大人お一人様 **9,200円**
 ■行程 各地＝八日市＝越智の庄・政所…蛭谷…筒井神社・木地師資料館…惟喬親王御陵…君ヶ畑…高松の御所(金竜寺)…大皇器地祖神社…政所＝永源寺＝各地

自然も人間も、親王がかくれた頃とあまり変わりは無いだろう、静かな山に木を引く音がこだまするだけで、千年の眠りをむさぼっているような村のたたずまいである。

■発着地と出発日、発着時間	約13km 約3時間50分	ツアーNo.210950
梅田 8:00 地下鉄竹田 8:50 出発	9月16日(木)	
18:00～18:50頃帰着		

～金勝山をめぐる～

近江アルプスとも呼ばれる険しい山の中に残る磨崖仏

■旅行代金 大人お一人様 **9,200円**
 ■行程 各地＝草津＝上桐生(登山口)…逆さ観音…坂坂磨崖仏…龍王山…金勝寺…道の駅こんげの里りっとう＝金胎寺＝各地

磨崖仏は聞きしに優る傑作であった。見あげるほど大きく、美しい味の花崗岩に、三尊仏が彫つてあり、小さな仏像の群れがそれを取りまわっている。

■発着地と出発日、発着時間	約4km 約5時間	ツアーNo.211046
梅田 8:00 地下鉄竹田 8:50 出発	10月14日(木)	
18:30～19:50頃帰着		

～吉野の川上～

南朝最後の皇子、自天王がかくれた吉野の川上村。後南朝哀史の舞台。

■旅行代金 大人お一人様 **9,800円**
 ■行程 各地＝吉野町宮滝＝国栖(くす)＝丹生川上神社上社＝白川渡…金剛寺…白川渡＝各地

その日は非常な大雪であった。昼ごろから雪も止み、妙にシんとした夕暮れがおとずれ、川上村は銀世界の中に、平和な眠りをむさぼっていた。すると、夜も更けた頃、突然小椽の宮へ軍勢が押しよせた。…こらえに耐え、熱がこもつて行く。

■発着地と出発日、発着時間	約8km 約2時間30分	ツアーNo.211143
梅田 7:50 天王寺 8:20 出発	11月11日(木)	
18:30～19:10頃帰着		

～葛城から吉野へ～

役行者や天武・持統両帝、柿本人麻呂などが吉野行幸の時に通ったといわれる芋峠を歩きます。

■旅行代金 大人お一人様 **10,800円**
 ■昼食 吉野山「吉野荘 湯川屋」の「西行御膳」
 ■行程 各地＝茅原山 吉祥草寺(役行者の生誕地。参拝)＝奥飛鳥・栢森…芋峠…吉野町千股＝吉野山(昼食)…【世界遺産】吉水神社(参拝)など、吉野山を散策…吉野山観光駐車場＝各地

このあたりを中の千本というが、花のない吉野山は物足りないかわり、南朝の哀史や義経の悲劇が、山気の中に惻々として迫ってくる。

■発着地と出発日、発着時間	約10km 約3時間30分	ツアーNo.211229
梅田 7:50 天王寺 8:20 出発	12月9日(木)	
18:20～19:00頃帰着		

お電話・FAX でのお申し込み・お問い合わせは



06-6644-7900



06-6644-6400

営業時間：平日 9:30～17:30 (土日祝・年末年始を除く)